

学童保育の基準を参酌化させない! みんなの力で逆風をはねのけよう! 2



県連協ニュースNo. 11号

2019年3月5日発行

愛知学童保育連絡協議会

TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324

Email:aichigakudou@gakudou.biz

http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

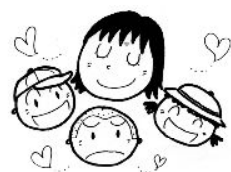
請願署名、国会議員との懇談、市や議会への働きかけは進んでいますか？
豊川市と津島市から取り組み報告が届きましたので紹介します。

【豊川市】

私たち豊川市学童保育連絡協議会はクラブの大規模化が大きな悩みです。「市長を囲む懇談会」に参加させていただいた折に、松下市議が声をかけて下さいました。「大規模で大変だね、参酌化のニュースもみたよ!」。そして地元の藤原県議会議員に話を繋げて下さり、更に藤原県議より衆議院議員(自由民主党)今枝宗一郎さんへ話を繋げてもらうことになりました。

1月31日に藤原県議事務所、今枝議員秘書の方、藤原県議、松下市議と懇談を行いました。指導員の基準の参酌化は地方での指導員不足問題を引き金に基準緩和が起こったが、決して指導員不足は解消されるわけではなく、むしろ更なる地域格差が広がる危険性もある、配置基準を守り大切な子どもたちの命を預かる学童保育の安全・安心を守るために、今まで以上の財源確保を願いたいとお話をしました。

懇談は終始穏やかで1時間程で終了となりました。後日、秘書の方より「学童保育の『従うべき基準』を堅持することが実現できる財政措置」と「学童保育を拡充し、子育て支援の充実」の紹介議員をお受けしますと連絡をいただきました。来る3月8日には豊川市連協の運営委員会にて、今枝議員と保護者との情報交換会を行い、署名を受け取っていただく予定となりました。若い子育て世代の議員さんに私たちの思いをのせて署名を届けてもらおうと思います。議員訪問は苦手でしたが、子どもたちのことを親身になって一緒に考えて下さる姿に感動しました。これからも、議員さんとの交流を絶やさず、学童保育はこんなところだよと日頃からアピールしていけたらいいなと思います。



【津島市】

〈議員懇談報告〉

「従うべき基準」を堅持することが実現できる財政措置を求める請願書について、全国的に国会議員と懇談をしている情報を知り、津島市連協としても昨年12月29日に地元の衆議院議員岡本みつのりさんと懇談を行いました。市連協から3名、県連協役員も同行してもらい請願署名の内容を説明しました。賛同いただき、1月27日、署名1,170筆を岡本みつのりさんにお渡ししました。



〈子ども・子育て支援新制度 学習会・懇談会〉

2019年2月17日 13:30～16:30

議員・行政に学童保育への理解を深めてもらい、子ども達の放課後についてともに考え、市の施策に生かしてもらうための懇談会を開催しました。

参加者は、津島市市議会議員6名、津島市子育て支援課1名、地域の方6名、市外の方1名、指導員13名、保護者19名、OB5名の計51名です。

「学童保育とは？・国の学童保育情勢・津島市の学童保育の現状・指導員の話・学習指導要領の改定・学童で育つ子ども達に」について、市連協事務局から説明をしました。

クラブ発表では、どろんこクラブは新設クラブ室での子ども達の生活状況、つくしクラブは学校からクラブ室までの集団通所が大変な状況、ひまわりクラブは年間を通しての楽しいイベントの様子を、あおぞらクラブは地域のコミュニティとの交流の様子について紹介し、参加者が住んでいる中学校区に分かれグループとなり懇談を行いました。

議員・行政等とかかわりをあまり持たない保護者・指導員が懇談を通じ、コミュニケーションをとり、普段あまり意見を言わない方も発言していました。今後もこのような会を企画していこうと思います。

